

神奈川県議会議員 石川ひろのり

県議会レポート 2019 vol. 17

石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933

<http://www.hiro-ishikawa.jp/>  石川ひろのり 



来年度予算は約700億円の財源不足。県税の使い方を考える。

神奈川県議会は9月より第3回定例会が開催されています。定例会初日、黒岩知事から来年度予算は約700億円の財政不足との見通しが報告されました。

2019年度予算は約600億円の財源不足、2018年度は約800億円、2017年度は約650億円の財源不足となっており、基金の取り崩しや県債発行などで何とか予算を編成している状況が続いています。今回、黒岩知事は、厳しい財政状況や働き方改革の観点を踏まえ、これまで以上にスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、廃止や休止を含めた施策・事業の見直しを行い、真に必要な施策・事業に財源を重点的に配分するとしています。

しかし、毎年続くこの状況は根本的な見直しを進めなくてはなりません。これまで、一つの環境系財団への補助金拠出の在り方、外国人観光客受入れ環境整備費用負担の在り方など、県税の使われ方について議会で質疑、提案を行って参りました。10月中旬からは決算特別委員会が開催されます。今期、決算特別委員会委員として質疑を行う予定です。納めた県税がどのように使われ、どのような結果であったのか。行政は結果が求められます。この質疑については、今後、議会レポート等を通じてご報告して参ります。

沿いの工業団地では、高波によりトラック等の車両や大型機械類が海水に浸り半年間営業ができない企業などもあり、これまでの想定をはるかに超える自然の猛威への対応が求められています。県ではまず、自分の命を守る「自助」、救助・避難所開設などの「共助」、初期消火・避難などの「公助」の連携で防災対応力を高める取り組みを行っています。

この台風被害により、県は自衛隊に災害派遣を要請し、鎌倉市内で倒木・土砂除去の支援が4日間にわたり行われ、その他、上空からの被害状況の情報収集が行われました。又、県内市町村と連携し支援体制の早期構築や金融支援など復旧に向け迅速に取り組んでいます。

私は被災地で災害担当者から話を伺い、事前の備えや対策はもちろんのこと、災害発生後の対応がとても重要であると考えています。避難所だけではなく「今何が足りないのか」「どこで何が配られるのか」地域で情報を共有したことによって、被災した中でも安心して次の準備ができたという話も伺いました。麻生区内各地域では、防災訓練やお祭りなど地域の横のつながりを持つきっかけとなる行事が毎年開催されています。もう他人事ではない防災対策。まず、お住まいの地域行事に参加されてみてはいかがでしょうか。



令和元年度6月現計予算と比較した場合の主な増減要素

令和元年度当初予算編成では、平成30年度の税収増などによる財源を活用。

歳入	県税(実質ベース) △280億円	臨時的な財源 △360億円
	地方交付税 臨時財政対策債 地方特例交付金 +140億円	
	歳入減 500億円	
歳出	介護・医療・児童関係費 +200億円	財源不足 △700億円

※一般財源ベース

台風15号台風被害に対する県の対応と防災対策

「まさか家が被災するなんて」「この地域がこんなになるとは」。これは私が熊本や神戸の被災地に伺った際、聞かれた言葉です。9月、関東地方に台風15号が上陸し、県内や特に千葉県にて多くの被害が発生しました。県内では、横須賀市、三浦市や鎌倉市などでおよそ15万7千軒の停電が発生、横浜市の手

令和元年台風第15号による県内被害状況(9月18日現在)

人的被害 死者0名 行方不明者0名 重傷3名 軽傷10名

建物被害 全壊3棟 半壊18棟 一部損壊1,192棟

床上浸水30棟 床下浸水31棟

崖くずれ 崖くずれ60件

その他※被害金額は、とりまとめ時点で県が把握しているもの

(1)文教施設被害 県立高校等で屋根、窓ガラスの破損 など

(2)農畜産業被害 農業用ハウス、畜舎の破損、野菜、果樹の損傷 など(被害金額約3億2,504万円)

(3)水産業被害 荷捌き施設や防波堤など水産関係施設の破損、漁船の破損 など(被害金額約3,099万円)

(4)林業被害 倒木・土砂流出 など(被害金額約578万円)

(5)公園施設被害 観音崎公園において倒木 など(被害金額約1,600万円)

※県管理施設の被害のみを記載

活動報告

「体験型自主防災訓練」に参加

9月、柿生小学校で開催された「体験型自主防災訓練」に参加。起震車で地震体験や水消火器での消火訓練、119番通報の体験など、まさに体験型の防災訓練ができました。また、非常食や炊き出しの試食も行われました。今回、町内会と地区総合型地域スポーツクラブが共催、近隣の町内会や自治会などが協力して訓練が実施され、新たな地域のつながり方を感じる訓練でもありました。災害はいつ発生するかわかりません。今後も、区内各地域で防災訓練が開催される予定です。ぜひ、参加されてみてはいかがでしょうか。



「高石神社例大祭」に出席

9月、「高石神社例大祭」に出席。境内での神事後、大太鼓が打ち鳴らされると山車・お囃子が出発。百合ヶ丘駅前からは子ども神輿も登場し、練り歩く子どもたちの元気な掛け声が町に響いていました。350年以上続く「高石神社例大祭」。地域の伝統行事として末永く残して欲しいと思います。



敬老の日「敬老会」に出席

9月、麻生区内の各地域で開催された「敬老会」に出席。昨年、厚労省より公表された市区町村別の平均寿命結果で、男女ともに全国トップ5にランクインした麻生区。参加された方々にお話を伺うと、ウォーキングやサークル活動などの地域活動に積極的に参加することが生きがいにつながるとのお話でした。敬老会に参加させていただく度に感じることは「地域の横のつながり」です。昨今、地域のつながりが希薄になりつつあると言われますが、地域行事を通じて皆さんが「顔の見える関係」を深めています。生きがいを持ちながら地域で安心して暮らせる社会づくりが一層進むよう尽力して参ります。



石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩国哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員笠ひろふみ秘書、民主党第9区総支部麻生区政策委員長・広報委員長を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。2019年4月22,811票の付託を頂き2期目の当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。

趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会5年連続出場。自己ベスト記録 3時間29分28秒） 家族：妻、子供一人
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父親から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。 [f 石川ひろのり](#) 検索

ボランティア
スタッフ募集

石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への
ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいようお願い申し上げます。
▶石川裕憲後援会 【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777) 【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの
ご意見・ご質問を
お待ちしております。
FAX 044-455-6614

ご意見など

お名前

TEL

ご住所

駅頭・街頭活動

地域の皆さまに直接、議会の報告を行うため、通勤・通学時間帯を中心に、県議会レポートをお配りしながら麻生区内の各駅にて駅頭・街頭活動を行っています。お見かけの際はぜひお受け取りいただき、ご一読をいただけたら幸いです。また、地域のお困りごとやご意見、ご要望もぜひお聞かせください。今後も駅頭・街頭活動等を含め、さまざまな形で県議会のご報告を行って参ります。



民主フォーラム
県政報告vol.25

「生徒に向き合う時間確保のための改革を」

文教委常任委員会にて県教育委員会へ質疑！

立高の役割を中長期的に検討すべきです。先日、県内唯一の水産科を持つ県立海洋科学高校を視察し、船乗りや漁業従事者を目指す生徒が学校立地や通学時の経済的理由で志望を断念している現状を伺いました。次世代の地域産業の担い手を育てるため、寮の設置やスクールバス等の通学支援を求めました。

6月末、文教常任委員会にて「部活動の指導時間増加」「ホームページでの情報発信作業」「生徒・保護者ニーズの多様化」などは県教委が発信するメールは増加しています。まずは「専門高校の通学支援」について質疑を行いました。対策が報告されました。対応の1つとして教員一人1台パソコンを導入し、テストや通知表の作成では業務が軽減された一方、HP作成や県教委から年

○教員の働き方改革

県教委から教員の労働時間長時間化の要因として

「専門高校の通学支援」は業務が軽減された一方、HP作成や県教委から年

石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

○専門高校の通学支援

本年度より私立高授業料の無償化(所得制限あり)が始まり、今後、公

石川ひろのり 事務所

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202
☎044-455-6611
☎044-455-6614
<http://www.hiro-ishikawa.jp>

文教常任委員会にて県教育委員会へ質疑！「生徒に向き合う時間確保のための改革を」
2019年8月2日号

